

国際ロータリー第2660地区
2022-23年度 クラブ国際・社会奉仕合同委員長会議

日 時：2022年9月17日（土）14：00～16：30
開催方法：大阪YMCA国際文化センター 並びに Zoom ウェビナー
司 会：地区国際・社会奉仕委員会 委員 山崎 修一

次 第

(敬称略)

	議事	担当
1	開会と資料確認 地区役員紹介	司会：地区国際・社会奉仕委員会 委員 山崎 修一
2	開会点鐘・開会挨拶	ガバナー 宮里 唯子
3	趣旨説明	地区国際・社会奉仕委員会 委員長 高木 大介
4	地区国際奉仕小委員会の活動 ・ RACの皆さんとGGプロジェクト してみませんか？ ・ みんなで知ろう「ポリオ」のこと ・ ウクライナ支援について	地区国際・社会奉仕委員会 国際奉仕小委員会 委員長 徳上 洋之
5	国際大会と大阪ナイトのご案内	地区国際・社会奉仕委員会 国際大会推進委員長 西本 恵美子
6	休 憩	
7	地区社会奉仕小委員会の活動 ・ 2020～2023年度の社会奉仕活動 アンケートより	地区国際・社会奉仕委員会 社会奉仕小委員会 委員長 庄田 佳保里
8	新しく奉仕活動を企画してみよう！ ロータリアンが汗をかこう！	地区ロータリー財団委員会 補助金小委員会 委員長 新堂 博
9	ウクライナの現状について	ニキータ・ショロム
10	大阪府における薬物乱用の現状について	大阪府健康医療部 生活衛生室薬務課 塚中 万里子
11	ローターアクト地区献血報告	地区ローターアクト代表 本田 丈歩
12	講評・閉会挨拶	顧問団・パストガバナー 山本 博史
13	閉会点鐘	ガバナー 宮里 唯子

◆ 配布資料一覧 ◆

- 出席者名簿 【資料 1】
- 国際奉仕小委員会の活動 【資料 2】
- みんなで知ろうポリオのこと 【資料 3】
- ウクライナ支援プロジェクト 【資料 4】
- 社会奉仕活動に関するアンケート結果 【資料 5】 ※別紙
- 2021-22 年度グローバル補助金・地区補助金 クラブ承認実績 【資料 6】
- 大阪府における薬物乱用の現状について 【資料 7】

国際ロータリー第2660地区 2022-2023年度 クラブ国際・社会奉仕合同委員長会議 出席者一覧表①

(敬称略)

ガバナー	宮里 唯子	茨木西	ロータリー財団委員会			
パストガバナー	高島 凱夫	大阪中之島	委員長		村橋 義晃	大阪中之島
パストガバナー	山本 博史	大阪南	ポリオプラス小委員会	委員長	近藤 佑介	大阪心齋橋
パストガバナー	● 簡 仁一	茨木	補助金小委員会	委員長	新堂 博	大阪城北
ガバナーエレクト	延原 健二	大阪大淀	委員		● 北口 竜輔	大阪中之島
ガバナーノミニー	大橋 秀典	東大阪東	委員		● 橋本 丈次	大阪心齋橋
I.M.第1組ガバナー補佐	神寶 敏夫	大阪梅田	ロータリーアクト委員会			
I.M.第2組ガバナー補佐	伊藤 智秋	高槻	委員長		伊藤 勝彦	大阪南
I.M.第3組ガバナー補佐	塩谷 眞治	大阪東	副委員長		● 仲西 良浩	大阪天満橋
I.M.第4組ガバナー補佐	伴井 敬司	大阪難波	副委員長		児林 秀一	八尾
I.M.第5組ガバナー補佐	小山 章松	大阪船場	副委員長		● 中嶋 茂夫	大阪中央
I.M.第6組ガバナー補佐	若宮 邦弘	大阪天王寺	委員		● 松本 かおり	守口
I.M.第1組ガバナー補佐エレクト	武枝 敏之	豊中	国際・社会奉仕委員会			
I.M.第2組ガバナー補佐エレクト	井伊 圭一郎	吹田西	委員長		高木 大介	高槻東
I.M.第3組ガバナー補佐エレクト	岩本 昌治	くずは	国際奉仕小委員会	委員長	徳上 洋之	大阪リバーサイド
I.M.第4組ガバナー補佐エレクト	横田 孝久	東大阪	社会奉仕小委員会	委員長	庄田 佳保里	池田くれは
I.M.第5組ガバナー補佐エレクト	上田 勝嗣	大阪西南	委員		中根 三恵子	大阪ユニバーサルシティ
I.M.第6組ガバナー補佐エレクト	中島 清治	大阪天満橋	委員		西本 恵美子	高槻
地区代表幹事	下條 泰利	大阪南	委員		乾 禎則	池田くれは
地区常任幹事	津村 昌明	茨木西	委員		坂本 一成	吹田西
地区幹事	敷知 龍一	茨木西	委員		尾島 康弘	大阪堂島
地区幹事	清水 達也	茨木西	委員		朝香 光雅	高槻東
地区幹事	競 耕三	茨木西	委員		戸谷 太郎	大阪北梅田
地区幹事	望田 成彦	摂津	委員		古澤 みちよ	大阪西南
			委員		柴田 和也	大阪平野
			委員		山村 幸久	大阪梅田東
			委員		山崎 修一	大阪鶴見
			委員		奥村 隆司	大阪梅田
			委員		澤田 宗久	大阪船場
			委員		山本 晃道	大阪北梅田
			委員		近藤 亘	吹田西
			委員		家喜 俊也	大阪城北
			委員		御木 威	大阪天満橋
			委員		橋本 修	大阪御堂筋本町
			委員		南出 謙一	大阪リバーサイド

● オンライン参加

国際ロータリー第2660地区 2022-2023年度 クラブ国際・社会奉仕合同委員長会議 出席者一覧 ②

(敬称略)

IM	クラブ名	国際・社会奉仕委員長 (代議の方を含む)	IM	クラブ名	国際・社会奉仕委員長 (代議の方を含む)	IM	クラブ名	国際・社会奉仕委員長 (代議の方を含む)				
1 組	池田	国際奉仕	欠席	大東	国際奉仕	間 紀夫	●	大阪堂島	国際奉仕	(尾島 康弘)		
		社会奉仕	柴田 宜孟		●	社会奉仕	柿木 篤		●	社会奉仕	笹田 淳	
	池田くれは	国際奉仕	(乾 禎則)	大東中央	国際奉仕	欠席	大阪フレンド	国際奉仕	榊苗 秀三	●		
		社会奉仕	(庄田 佳保里)		社会奉仕	庵谷 和宏		●	社会奉仕	深澤 一紀	●	
	箕面	国際奉仕	高橋 太朗	●	枚方	国際奉仕	大東 将啓	●	大阪西北	国際奉仕	勝亦 良彰	
		社会奉仕	河野 優作	●		社会奉仕	明瀬 大輔	●		社会奉仕	井上 芳郎	
	箕面千里中央	国際奉仕	欠席	門真	国際奉仕	大田 美和	●	大阪リバーサイド	国際奉仕	川原田 慶太		
		社会奉仕	欠席		社会奉仕	欠席	社会奉仕		藤井 寿治			
	大阪水都	国際奉仕	松村 安之	交野	国際奉仕	安田 浩治	5 組	大阪船場	国際奉仕	中嶋 啓至	●	
		社会奉仕	藤間 好太郎		社会奉仕	森本 憲卓			社会奉仕	清水 清一	●	
	大阪中央	国際奉仕	松原 真由美	●	香里園	国際奉仕	的場 信一郎	●	大阪心斎橋	国際奉仕	橋本 文次	●
		社会奉仕	有田 泰弘	●		社会奉仕	欠席	社会奉仕		岩佐 厚	●	
	大阪北梅田	国際奉仕	小松 克巳	●	くずは	国際奉仕	杉森 久哉	●	大阪西南	国際奉仕	水谷 佳代	●
		社会奉仕	加登 敏夫	●		社会奉仕	養老 孝雄	●		社会奉仕	柴崎 優美	●
	大阪北	国際奉仕	村岡 基	●	守口	国際奉仕	廣瀬 彰久	●	大阪ユニバーサルシティ	国際奉仕	橋本 勉	●
		社会奉仕	堤 裕成	●		社会奉仕	川村 弘和	●		社会奉仕	松山 三雄	
	大阪大淀	国際奉仕	欠席	守口イブニング	国際奉仕	小林 澄子	6 組	大阪アーバン	国際奉仕	梅村 俊和		
		社会奉仕	上野 博史		社会奉仕	欠席			社会奉仕	中辻 大輔	●	
	大阪そねざき	国際奉仕	山野 拓也	寝屋川	国際奉仕	向井 弘	●	大阪うつぼ	国際奉仕	住吉 依子	●	
		社会奉仕	越山 大雅		社会奉仕	欠席	社会奉仕		市村 孔	●		
大阪梅田	国際奉仕	福山 紀香	●	大阪東	国際奉仕	壺山 和憲	大阪西	国際奉仕	欠席			
	社会奉仕	奥山 智史	●		社会奉仕	石田 貴志		社会奉仕	井上 佳昭	●		
大阪梅田東	国際奉仕	欠席	大阪城東	国際奉仕	柳瀬 寛之	大阪	国際奉仕	佐川 泰宏	●			
	社会奉仕	欠席		国際奉仕	川中 義裕		●	社会奉仕	石原 福造	●		
豊中	国際奉仕	横田 広司	●	大阪城北	国際奉仕	佐々木 多喜子	●	大阪イブニング	国際奉仕	松浦 克巳		
	社会奉仕	眞下 節	●		社会奉仕	(新堂 博)	●		社会奉仕	欠席		
豊中千里	国際奉仕	由利 佳久	●	大阪鶴見	国際奉仕	(橋本 修)	大阪平野	国際奉仕	竹下 晋司			
	社会奉仕	藤谷 和憲	●		国際奉仕	欠席		●	社会奉仕	石橋 司也	●	
豊中南	国際奉仕	中谷 裕二	●	東大阪	国際奉仕	吉羽 潤司	●	大阪城南	国際奉仕	元氏 成保	●	
	社会奉仕	西原 英樹	●		社会奉仕	坂井 俊之	●		社会奉仕	同上		
茨木	国際奉仕	久保 義誓	●	東大阪東	国際奉仕	山田 茂樹	●	大阪中之島	国際奉仕	(高島 凱夫)		
	社会奉仕	欠席	●		社会奉仕	滝川 晃	●		社会奉仕	北口 竜輔		
茨木東	国際奉仕	中田 有紀	●	東大阪西	国際奉仕	石田 肇	●	大阪大手前	国際奉仕	大蔭 政勝		
	社会奉仕	河野 幸広	●		社会奉仕	谷村 佳昭	●		社会奉仕	辻村 和弘	●	
茨木西	国際奉仕	(競 耕三)	東大阪中央	国際奉仕	高島 政康	大阪咲洲	国際奉仕	西田 宜弘	●			
	社会奉仕	(敷知 龍一)		●	社会奉仕		岩橋 竜介	●	社会奉仕	森 優也		
大阪東淀ちゃやまち	国際奉仕	磯田 郁子	東大阪みどり	国際奉仕	岩橋 竜介	大阪東南	国際奉仕	北村 佳久	●			
	社会奉仕	戸田 和孝		●	社会奉仕		芝池 福子	●	社会奉仕	井本 竹則	●	
大阪淀川	国際奉仕	川合 雄治	大阪柏原	国際奉仕	欠席	大阪天満橋	国際奉仕	吉村 圭太	●			
	社会奉仕	田中 弘		●	社会奉仕		木戸 章由	●	社会奉仕	望田 謙三	●	
千里	国際奉仕	馬場 明道	●	大阪御堂筋本町	国際奉仕	林 芳繁	大阪天王寺	国際奉仕	望田 謙三	●		
	社会奉仕	古城 紀雄	●		社会奉仕	酒井 雅人		●	国際奉仕	桐山 和謙	●	
千里メイプル	国際奉仕	水本 徹	●	大阪難波	国際奉仕	安部 潤一	大阪帝塚山	国際奉仕	中島 崇	●		
	社会奉仕	松田 親男	●		社会奉仕	(橋本 修)		●	社会奉仕	浅野 敏行	●	
摂津	国際奉仕	(望田 成彦)	大阪ネクスト	国際奉仕	中川 静夫	●	大阪RAC	国際奉仕	浅井 寿徳	●		
	社会奉仕	東谷 弥八郎		●	社会奉仕	林 博之		●	社会奉仕	欠席		
新大阪	国際奉仕	谷口 光夫	●	大阪南	国際奉仕	齋藤 安以子	地区代表 (新大阪RAC)	国際奉仕	本田 文歩			
	社会奉仕	松本 圭右	●		●	●		●	●	●		
吹田	国際奉仕	大枝 正人	●	八尾	国際奉仕	横山 慶治	池田RAC	国際奉仕	小川 祐汰			
	社会奉仕	稲田 正毅	●		●	●		●	●	●		
吹田江坂	国際奉仕	渡辺 忠雄	八尾中央	国際奉仕	川田 貴亮	八尾RAC	国際奉仕	増田 秀一郎				
	社会奉仕	杉本 英一郎		●	●		●	●	●			
吹田西	国際奉仕	仁科 直樹	●	八尾東	国際奉仕	神藤 佳浩	大阪RAC	国際奉仕	上村 雄太	●		
	社会奉仕	(近藤 亘)	●		●	●		●	●	●		
高槻	国際奉仕	小阪 大輔	●	八尾東	国際奉仕	山本 与志弥	大阪RAC	国際奉仕	児林 成輝			
	社会奉仕	(西本 恵美子)	●		●	●		●	●	●		
高槻東	国際奉仕	小阪 大輔	●	八尾東	国際奉仕	同上	大阪RAC	国際奉仕	佐藤 誉亮			
	社会奉仕	(西本 恵美子)	●		●	●		●	●	●		
高槻西	国際奉仕	杉村 公三郎	八尾東	国際奉仕	辻田 撰	大阪RAC	国際奉仕	吉川 祐輔	●			
	社会奉仕	村井 英則		●	●		●	●	●			
高槻西	国際奉仕	岩谷 年明	八尾東	国際奉仕	浅井 寿徳	大阪RAC	国際奉仕	吉川 祐輔	●			
	社会奉仕	同上		●	●		●	●	●			

● オンライン参加

2022-23年度
クラブ国際・社会奉仕合同委員長会議

国際奉仕小委員会部門

地区国際・社会奉仕委員会
国際奉仕小委員会 委員長 徳上洋之

1

本日、皆様にお伝えしたい事

RACの皆さんとグローバル補助金プロジェクトをしてみませんか？
ポリオを知ることがポリオ根絶への第一歩！
国際奉仕活動がポリオ根絶に繋がり、地域社会貢献にも繋がる！
クラブでウクライナの支援をしてみませんか？

2

RACの皆さんと グローバル補助金プロジェクトを してみませんか？

3

2660地区会員数が3500名を割ってしまいました

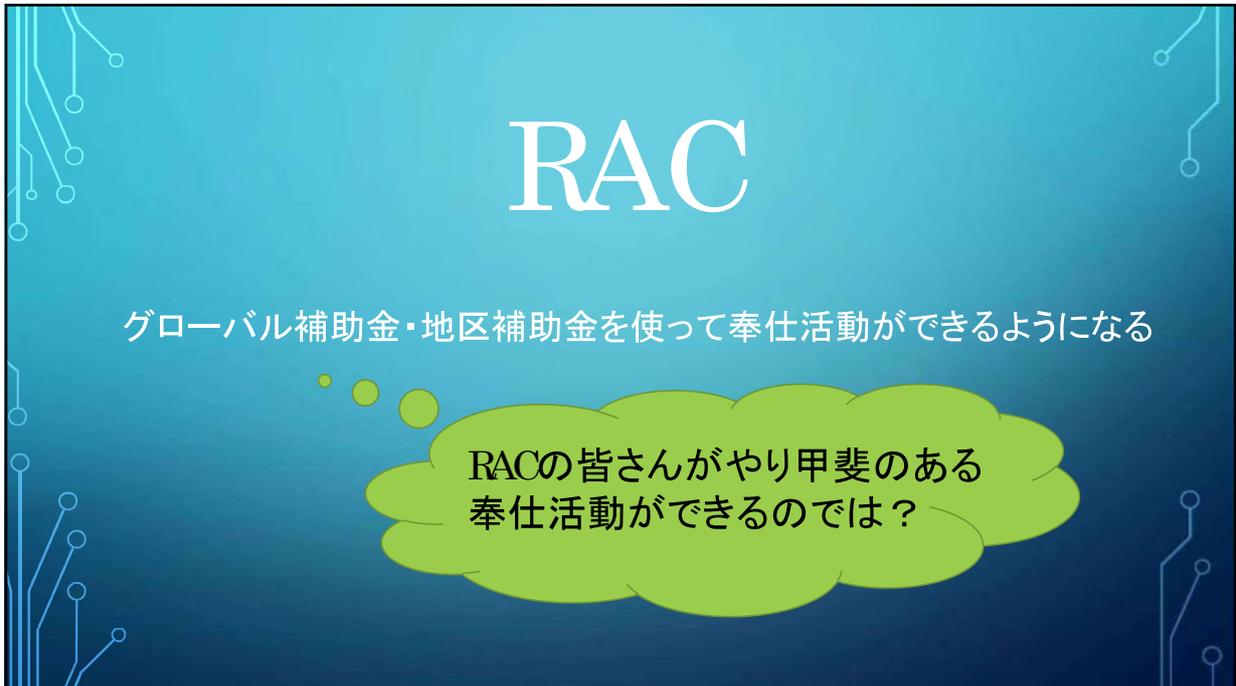
- 会員増強
- 若手ロータリアンの育成・退会防止

やり甲斐を感じられる
奉仕活動が効果的!?

4



5



6

RACのためのロータリー財団補助金申請要件(GG)		
 <p>グローバル補助金</p>		
提唱者	<ul style="list-style-type: none"> ・実施国または活動国は、代表提唱者のいずれかは、ロータリークラブまたは地区であること。 ・提唱RACは、過去ロータリークラブのグローバル補助金活動に協力した経験があること。 	財団要件
活動	人道的国際奉仕活動	
プロジェクト総額	30,000ドル以上	
DDF申請額	17,000ドル以下	
RAC拠出金 (代表提唱クラブ)	400ドル以上	地区要件

グローバル補助金活動に協力した事があるRACを増やさなければならない！

7

RACの皆さんとGGを使って国際奉仕活動していただけないでしょうか？

グローバル補助金を使った国際奉仕活動を計画されているクラブ様

RACの皆様は「一緒に活動しようよ！」と声かけしていただけないでしょうか？

次回よりRACがグローバル補助金を申請(提唱)することができます！！

グローバル補助金を使った国際奉仕活動は手間がかかって大変だと感じておられるクラブ様

地区国際奉仕委員会がグローバル補助金プロジェクトを提案させていただきます！！

現地のRCや協力団体、RACとの連携をサポートさせていただきます！！

8

カンボジアにおける疾病と予防プロジェクト (グローバル補助金事業)

眼科遠隔診療診断により白内障などによる失明を予防する
カンボジアには早期発見、早期治療により防げる失明がたくさんある

9

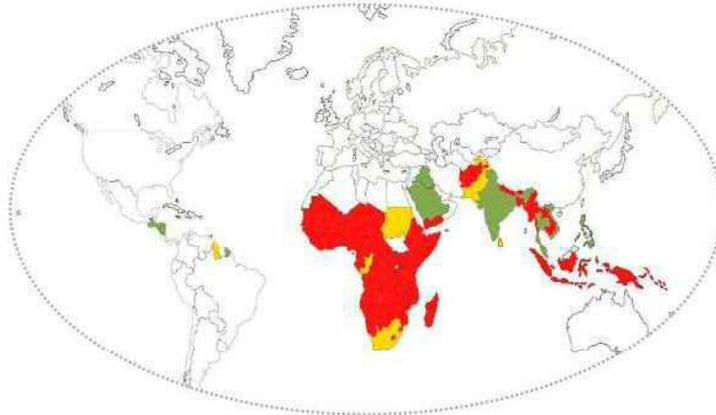
Mission

医療が届かないところに、医療を届ける

10

眼科診療の現状（アジア、アフリカ）

眼科医が絶対的に不足、かつ都市部に偏在
 全世界で3,600万人が失明、その中には予防可能な疾患が多く含まれる
 今後人口増加と高齢化が進み、失明者は更に増えると予測される



■ 眼科医が人口6～10万人に1人 ■ 眼科医が人口10～20万人に1人 ■ 眼科医が人口20万人に1人以下

11

眼科診療の現状（国外:カンボジア）

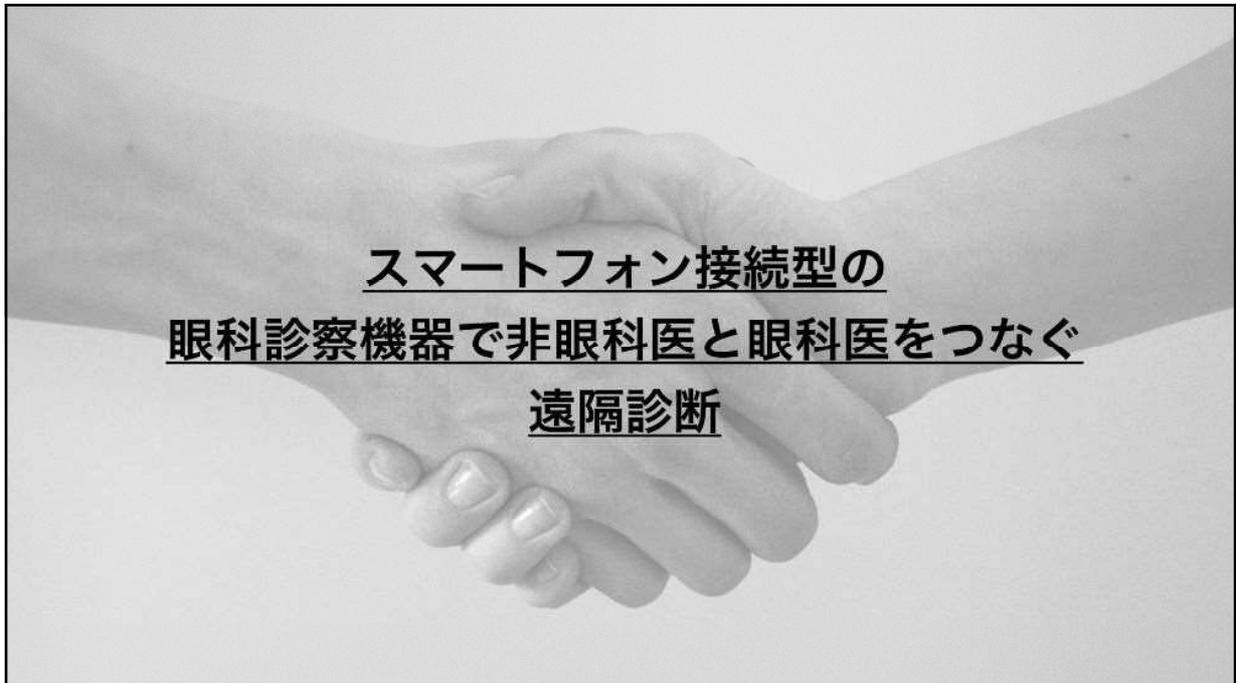
眼科医は人口30万人に1人でその8割は首都に集中



12



13



14

眼科の経験がない人でも診断に必要なクオリティの画像が手軽に撮影できる



クラス1 医療機器

定価29.8万円

国内特許取得済、国際特許出願中

国内・EU・USFDA医療機器登録済

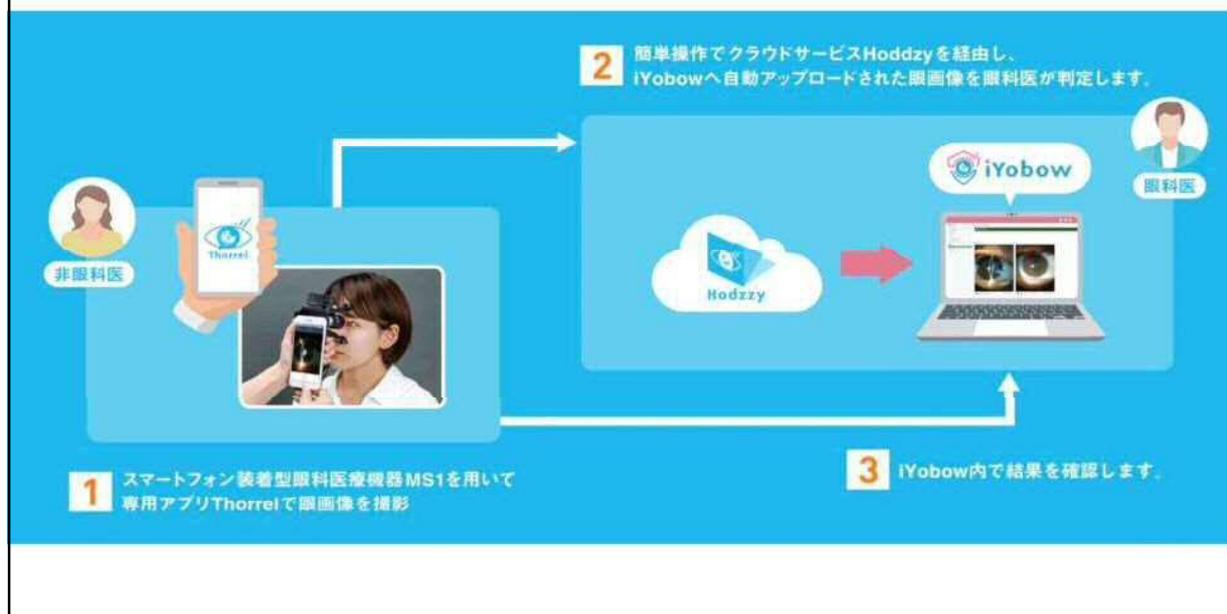
眼科診療で必ず使われるコアな検査：細隙灯顕微鏡

安価・200g程度

10分練習するだけで眼科医が診断できるクオリティの画像が簡単に撮れる

15

撮影後すぐに眼科医に共有され検診をクイックに行うことが可能



16

チーム紹介



北直史
CEO

眼科医として13年目。途上国、離島や在宅での眼科医療経験が豊富。



山内佳奈
共同創業者

大学病院や市中病院での看護師経験に加え途上国や災害医療支援、路上生活者支援医療など豊富な経験



森直彦
エンジニア

ベンチャーから大手企業までエンジニアとして20年以上の豊富な経験。MBA



相原一
顧問

東大眼科教授
日本緑内障学会理事長。多くの医療機器開発に携わる

17


Sunrise Japan Hospital
Phnom Penh




MATSUSHITA Hironori
Director

ប្រធានបណ្ណាល័យ
松本 弘典

Sunrise Healthcare Service Co., Ltd.
Tel: +855 (0)21 2401352 M: +855 (0)107 10077 (+81) (0)70 6555 9061
No.177, Kaka Luen Street (the Hay Road), Group 2, Phnom 2
Santhor Chhn Chhnang, Khor Chhn Chhnang, Phnom Penh, Cambodia

18



19



“日本の医療品質をカンボジアに根付かせる”

現地の熱い期待に応え カンボジアの人々に支持される カンボジアの人々にとってなくてはならない場所に！

安倍総理大臣のカンボジア訪問時 に医療分野で覚書に署名

2013年11月16日(土)、カンボジア・プノンペンにおいて、安倍総理大臣とフンセン・カンボジア首相の立ち会いのもと、厚生労働省は、「日本国厚生労働省とカンボジア王国保健省との医療分野に関する覚書」の署名を行いました。具体的には、

- (1)医療保険制度に係る経験の共有
- (2)医療サービスの強化に係る協力
- (3)先進的な医薬品・医療機器の導入

といった分野において、相互に協力を行うことを確認しました。

厚生労働省では、これまで諸外国との医療分野の協力覚書は前例がありませんでしたが、今回の安倍総理大臣のカンボジア訪問時の署名は、アジアで初めてのものです。本年12月の日・ASEAN特別首脳会議に向けて、ASEAN全体への医療協力に貢献してまいります。

(出所) 厚生労働省ウェブページ
<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031279.html>

MEMORANDUM of Cooperation in the Field of Healthcare
between
Ministry of Health of the Kingdom of Cambodia
and
Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

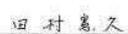
Whereas Ministry of Health of the Kingdom of Cambodia and Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan, hereafter referred to as 'both sides', have intention to promote cooperation in the field of healthcare on advanced studies of mutual interest;

Therefore, both sides hereby have reached common recognition to explore opportunities for cooperation in the field of healthcare in the following areas:

- Exchange experiences in social health insurance system
- Cooperation to enhance healthcare services
- Introduction of advanced pharmaceuticals and medical devices

Further, both sides have reached common recognition to explore additional avenues through which both sides might enhance and further their mutual interests. This memorandum is intended only to describe the general principles and key terms for initial and prospective cooperation. This memorandum will commence from the date of its signing and the cooperation will be continued during a period of five years. The period of cooperation under this memorandum will automatically be extended for successive five-year periods. This memorandum may be terminated by either side with prior written notice to the other side not later than six months before the desired date of termination.

Signed in Phnom Penh on 16 November, 2013, in English.

<p>For the Ministry of Health of the Kingdom of Cambodia</p>  <p>Dr. Mam Bunheng Minister of Health</p>	<p>For the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan</p>  <p>田村 尚久 Norihisa Tamura Minister of Health, Labour and</p>
---	---

6

20

実証予算

総額1000万円程度の予算を想定

イニシャルコスト		計 (万円)
	デバイス 20万円x20台	400
	スマホ 3.5万円x20台	70
	充電器 0.3万円x20台	6
ランニングコスト		
	SIM 0.1万円x9ヶ月x20台	18
	クラウド 10万円x9ヶ月	90
	MITAS Medical人件費 (現地人材) 10万円x9ヶ月	90
	MITAS 渡航費用(飛行機) 10万円x4回x2人	80
	MITAS 人件費 0.17万円x8時間x6日x4回	65
	MITAS 現地移動費用 1万円x6日x4回	24
	MITAS通信費用 0.2万円x4回	0.8
	MITAS ホテル 1万円x6日x4回x2人	48
	MITAS PCR 2万円x4回x2人	16
	人件費 (サンライズ看護師) 0.5万円x20ヶ所x2回	25
	眼科医コスト 0.01x月50件x9ヶ月x20ヶ所	90
合計		1018

21

グローバル補助金事業をやってみたいクラブ様
地区の方までご連絡頂ければ幸いです

地区がサポート致します

22



みんなで知ろうポリオのこと

地区国際・社会奉仕委員会 国際奉仕小委員会
委員長 徳上 洋之（大阪リバーサイドRC）

1



Drop to Zero ポリオ根絶の歴史的取り組み

数千年間人類を苦しめてきたポリオ

1950年代のはじめアメリカで大流行

- 6万人近くが手足のまひ
- いつ誰が感染するかわからない
- 何が起きているのか誰もわからなかった



古代エジプトの壁面にみられるポリオ

2

症状

1. 多くの子どもの場合
軽いインフルエンザ様症状を惹起
2. ウイルスが脊髄に到達
手足の筋肉が動かさなくなる
3. 最悪の場合
呼吸困難、嚥下障害により死に至る



3



4

治療法がないポリオという病気

- ポリオウイルス
人体でしか増殖できない
- もう変異しない
- 感染経路
汚染された水、食べ物、排泄物
- 人体の所で対策すれば
根絶できる！！



5



アメリカで大流行の最中

ワクチンが開発される

注射によるワクチン

経口ポリオワクチン

1956年から1960年

安価で簡単に投与が可能な経口ワクチンの開発に成功

医療従事者でなくとも
子どもの口にワクチン2滴をたらすだけ

ポリオ根絶の大きな希望の光となる

6

Drop to Zero ポリオ根絶の歴史的取り組み

ロータリー vs. ポリオ

1979年 ロータリーがイニシアチブをとり
子どもを対象とした大々的な予防接種を通じてポリオの根絶
をめざす、世界で初めての取り組み
(当時、WHOは根絶できると考えていなかった！)

1985年 ポリオプラス (麻疹、マラリアを含む) 発表

7

世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)発足

ロータリー単独で行なっている活動ではない

そこには責任があります

ロータリーは
世界的機関と共に活動していく事となった

8

ポリオ根絶の歴史的取り組み

ポリオ根絶活動

すべての子どもが予防接種を受けられるようにするために

- 01 ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども
- 02 治療法はないが、ワクチンで予防が可能
- 03 パートナー団体とともに122カ国、世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を実施
- 04 ポリオの発症数は99.9%減少し、ポリオ根絶は目前
- 05 野生型ポリオウイルスの常在国はわずか2カ国

9

Drop to Zero

ポリオ根絶の歴史的取り組み

ポリオ根絶が実現すれば、天然痘に続いて根絶される人類史上2番目の疾病に



長年のポリオ根絶活動によってポリオの症例数は99.9%減少

1988年にロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例あり

野生型ポリオウイルスの症例が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみ



アフガニスタン



パキスタン

10

ポリオを根絶できない理由

- 発展途上国の子ども達が爆発的に増えた
- これにより予算が足りなくなってきた
- 東西冷戦構造が壊れて、アメリカやロシアの言うことを聞かない第三世界が台頭

11



ポリオ接種活動の従事者8人殺害 アフガニスタン、 国連が非難

2022/02/25



【イスラマバート、

ワクチン接種活動が

州で24日、ポリオウイルス

のワクチン接種活動に

ままならない！

、襲撃され、少なくとも計8人が

死亡した。地元

47 Curated by 47NEWS

More

12

ポリオを根絶するには●●●が必要

- 疾病の根絶には医療やお金だけでなく『平和が必要』
- 『安全な水が飲める』
- 『食事ができる』
- 『安心して生活ができる』 などの生活基盤が大前提！！

皆様がされている様々な国際奉仕活動が
ポリオ根絶に繋がります！

13



14

マスメディアがロータリーを取り上げてくれない問題

- ビルゲイツ財団ばかりとりあげる
- しかしロータリーがオリジナル！

- **自負を持って活動しよう！！**

15

ポリオ根絶に向けて何か活動してみませんか？

2022-23年度は年次目標として

「ポリオデーにポリオ根絶にちなんだ活動をRAC、IAC、ロータリーファミリーと協働し、発信します」を掲げています。

この度、日本の発信サイト <https://www.endpoliorotary.club/home> が立ち上がりました。

10分程度のポリオについて分かりやすい動画があります。

例会などで流すだけでも活動の一つになります

10月24日の「世界ポリオデー」に向けて、是非、ロータリークラブにサイトの周知、投稿をお願い申し上げます。

16

Rotary 

ウクライナ支援

地区国際・社会奉仕委員会 国際奉仕小委員会
委員長 徳上 洋之（大阪リバーサイドRC）

1

1 Cherkasy International RC 仮設住宅への支援

仮設住宅への支援

ロシア侵攻後に故郷を逃れ Cherkasy 市に非難した人々は 6 万を超えました。現在も一日あたり 1~300 名の避難者が町に到着しています。彼らは住居を必要としており、Cherkasy 市当局は、避難民のために仮設住宅用ビルを準備致しました。我々 Cherkasy International RC はこのビルの改装を担当し、既に寝台 300 台を購入しその他整備に取り組んでいます。この仮設住宅は学校の体育館などで寝泊まりしている家族を中心提供され、9 月 22 日までに入居する予定です。備品や什器などへの支援をお願い致します。



1. 改装費
2. 寝室
寝台 (100 台)
マットレス (500 個)
枕 (500 個)
毛布 5 (500 枚)
リネンセット (500 セット)
3. 家具
調理台 (10 台)
テーブル (50 台)
椅子 (200 脚)
4. 家電製品
洗濯機 (5 台)
冷蔵庫 (20 台)
炊飯器 (10 台)
暖房機 (10 台)
5. 配管/衛生設備
シャワー (28 セット)
トイレ設備 (8 か所、大便器
33 台、小便器 14 台)
手洗台 (20 台)
水道管混合栓 (50 個)
6. その他
ディーゼル発電機 (2 台)
7. 個人的、公共用衛生用品、食器類

2

ヨットスクールへの送迎車支援

ヨットスクールへの送迎車支援

我々は2018年以来、25年間にわたり閉鎖された子供ヨットスクールを再開し、子供達の健康と育成に努めてきました。今回のロシア侵攻により、他地区から Cherkasy 市に避難している子供達のためにも活動を継続していますが、彼らの送迎車の調達が緊急の課題です。



フォルクスワーゲン中古車（トレーラー）24800USD:

3

発電機支援

発電機支援

7月22日現在、電力が不足しています。発電機調達へ、支援をお願いします。



発電機4台はドイツで調達し、配送料を含み、12,000 € (USD12,400)

4

ロータリー・リゾート活動

ロータリー・リゾート活動

10 万人以上の女性や子供達が攻撃を受けながらも Kharkiv 地区を離れることなく、子供達は教育を受けられずにいます。Kharkiv 地域の半分以上（遊園地、公園、学校、病院、森林、その他）が破壊されてしまいました。

地下や避難所にいる母子の為にこの特別なプログラムは、トラウマの予防や心身の回復を目的に、南部の安全な地域で、7~9 月に母子（4~14 歳）を対象に総勢 30 名 3 組を対象に 14 日のプログラムを開催予定です。



参加者 30 名（14 日間）
24750\$（825\$/一名）

経費内訳：

- 宿泊費および食事代（30 名）
11400\$
- 専門家用（7 名）宿泊費・賃金
6740\$
- 交通費
1060\$
- 教材費
750\$
- 図書およびチラシ
3100\$
- ロータリー記念品代
1700\$

5

子供のためのリハビリテーションセンター

子供のためのリハビリテーションセンター

子供達に 2 週間の心理的支援、休息、新しい友人、そして教育を提供するために、安全なヨーロッパ圏にリハビリテーションセンターを設立し、2022 年 2 月 24 日の開戦以来戦地にいる 30 名の子供達を支援対象とします。



参加者 30 名（14 日間）
23100€

- 交通費（バス）
220€/1 名
- センター内宿泊費
400€/1 名
- エクスカーション、授業料、リ
クレーション
120€/1 名
- 登録料
30€/1 名

6

地雷除去

Kharkiv 地区はロシアの攻撃を受け、一部は侵略されています。 日々危険の高まるなか、我々ロータリーの会員は地雷除去に携わる人々を支援します。

- 地雷除去のための整備
- Kharkiv 工作作業員と国家緊急部隊に防護機材
- 地域住民への地雷に関する問題や知識の啓発



クラブ会長自ら地雷除去の研修を受けています。

総予算 約 115 000 USD

7

ウクライナ語のデジタル教科書

2,000 以上の学校が完全に破壊され、ウクライナ語の教科書や教師が不足しています。このため、我々は 1～4 年生用のデジタル教科書を作成し、5 万人以上の教師にデジタル教科書を使って授業を行えるよう研修を実施し、子供達の教育を支援します。

デジタル教科書はウクライナ教育省から承認を受け、世界中のウクライナの子供達の教育に利用が可能です。

ウクライナ語デジタル教科書
\$136,000

8

子供のいる国内避難民のための住宅支援

子供のいる国内避難民のための住宅（アパート）支援



-The total area is 61 sq.m.
-The apartment has a balcony and loggi, household appliances. All windows, interior and entrance doors have been replaced. Water and light counters.



-The total area is 44,7 sq.m
-Everything is available, including kitchen, household appliances, gas stove, hot water boiler, bath.



-The total area is 33 sq.m.
-Replaced windows, lost laminate. Electrical wiring was replaced. The bathroom and kitchen are tiled. Meters for gas, electricity and water.



-The total area is 45,7 sq.m.
-Everything is available, residential condition.

-Total cost of apartments under the project: 2,217,033 UAH
-Taxes and fees: 5% VAT and

総費用

2,253,983.5 UAH

9

モジュラーハウスプロジェクト

モジュラーハウス プロジェクト

Kyiv 近郊 Moshchun 村はロシア侵攻がやんだものの、85%の建物が破壊されました。我々は最大 300 件のモジュラーハウスを建て、住まいを失った人々が冬を越せる仮設住宅を提供します。地区は、財団の災害救援補助金 25,000 ドルの申請を準備しています。

Moshchun 村の復興は、2 段階で計画しています。 先ず、緊急支援としてのモジュラーハウスの提供、その後多くの協力団体の支援を受け、インフラや家屋の建設など地域の復興です。

現在は、3 軒のモジュラーハウスが完了し、5 軒が建設中です。



総費用

2,253,983.5 UAH

10

未来のワークショップ ―児童とその家族のための人道支援―

“未来のワークショップ” -児童とその家族のための人道支援-

児童とその家族を対象に、教育的ゲームやクエスト、新しい教育製品、アートセラピー、心理カウンセリング等ワークショップを継続的に開催します。

<ワークショップのクラス事例紹介>

1. 休日提供：Kyiv 攻防戦に夫が出兵中の市内にとどまっている妊婦対象：78名参加
2. ペインティング：陶磁器の絵付け（天使と鐘の絵）
3. 休日提供：児童を対象に Borodyanka 劇場にて演劇や有名歌手のコンサートの開催：121名参加
4. 占領軍によって目の前で夫を殺された女性（母親）への心理カウンセリング



11

”国境なき子供たちの夢” ―子ども達の移動型インクルーシブ・リソース・センター支援―

“国境なき子供たちの夢”―子ども達の移動型インクルーシブ・リソース・センター支援―
子どもたちの精神と生命を可能な限り守らなければなりません。包括的な教育は、すべての子どもたちに質の高い教育を確保するための優先事項です。また、社会化の機会、そして特別な教育的ニーズを持つ子どもたちとふれあい、人生を共有する機会でもあるのです。プロジェクトの目標は、ウクライナのコミュニティでより多くの子どもたちに手を差し伸べ、それぞれの子どもたちの能力を明らかにし、個性を伸ばし、対話を行うことを教え、寛容さと共感を育み、周囲の世界を理解し、新しい方法でそれを創造する勇気を持たせることです。このプロジェクトの独自性は、ウクライナのすべてのコミュニティでセンターの活動を組織化でき、その機動性により戦時中でも利用可能であることです。このプロジェクトの課題は、子どもの発達に関する心理学的・教育学的な総合評価を行うこと、子どもが特別な教育的ニーズを有しているかどうかを確定すること、インクルーシブ教育の組織化に関する動きを行うこと、子どもへの心理的・教育的支援を確実に行うこと、教師や子どもの親に方法的支援を行うこと、子どもに対する体系的な連絡支援を行うこと、などである。

活動計画の内容：移動型インクルーシブ・リソース・センターは、子どもの発達に関する包括的な評価を行い、矯正リハビリテーションと心理・教育サービスを提供します。総合的な評価は、移動型インクルーシブ・リソース・センターの専門家が個別に子どもの学習場所や居住場所（滞在先）で実施する。インクルーシブ・リソースセンターの活動は、センター長、教育職員（言語教師、特別教育教師）によって提供されます。子どもの親には心理的な支援もしてくれます。グループミーティングで、痛みについて話したり、対立状況を解決した経験を共有したり、専門家から実践的なアドバイスを受けたり、精神的なサポートを受けることができます。夏と冬には子どもたちのキャンプの開催も計画されています。

プロジェクト実施に必要なリソース：リハビリテーションの方法、設備、移動式家具、心理・教育・矯正・発達サービス提供のための近代的手法と教育機器、専門のコンピュータプログラム、教育的・体系的マニュアル、子どもや親と働く専門家のトレーニング資金、夏と冬の子どもキャンプの開催のための資金、センター移動用のミニバス。

このプロジェクトは、持続可能なものです。

プロジェクトパートナー：

1. NGO “インクルーシブ・スタディーズ”
2. NGO “クロス・ボーダー・インタラクティブ研究所”
3. Lesya Ukrainka Volyn 国立大学：インクルーシブ・ハブ “Space of Action”
<https://inhub.lutsk.ua/2021/12/28/uroky-tolerantnosti-video/>



12

心的外傷性ストレス障害者のための精神疾患ケア研究所の設立

心的外傷性ストレス障害者のための精神疾患ケア研究所の設立

精神疾患および行動障害のある人々を対象に、心理的支援と精神医学的援助の提供を目的とした専門医療機関の研究所を Lviv 州に設立する予定です。将来的には、治療・リハビリテーション・専門的な心理療法支援のために適切な機器の設置、必要なインフラを整備します。国内外の優秀な専門家の参加のもと、心理カウンセリング、薬物治療、入院治療、緩和ケアなど、世界的に検証された革新的なプロトコルを開発し、実施します。研究所の機能は、主に、戦闘員やその家族、戦闘状態にある地域からの国内避難民、様々な年齢層の子ども、精神的または精神医学的支援の助けを求めるすべての人々のニーズを意図して作られています。同研究所の専門家は、危機的状況における自立のテクニックと心理的支援方法を学びたい人すべての人のために一連の訓練を開発します。

150,000 UAH (\$3,750)



13

人道的プロジェクトEVACUATION200

人道的プロジェクト“EVACUATION 200”

戦闘状態の中、ロシア連邦の軍事侵略の結果、被害を受けた現場に多数の死者の遺体（遺骨）がそのまま残されており、その死者の身元を確認し、さらに埋葬する必要があります。Odessa Sea Energy RCのメンバーは、Odesaにある軍事歴史センター“Memory and Glory”と協働し、人道的プロジェクト“EVACUATION 200”に参加しています。同センターは2007年に設立され、第二次世界大戦の戦場での発掘調査など、現地調査において豊富な経験を持っています。遺骨捜索の特異性は、交代制で行われる移動が地理的に広範囲に渡るため、非常に複雑になっています。私たちの活動はシステム化されています。ウクライナの多くの地域で、強弱の差こそあれ戦闘が行われており、それがまた遺骨のさらなる捜索に強く影響しているのです。人道的プロジェクト“Evacuation 200”は、12人の捜索者グループを4回交代で派遣する枠組みで実施します。



プロジェクト予算合計：61,580 USD

車両2台

① 小型トラック（1台）：20,000 USD

4～5人乗り

ディーゼルエンジン（Toyota Hilux, Mitsubishi L-200）

② 自動冷蔵庫（1台）：20,000 USD

（Mercedes-Benz, Volkswagen）

制服と装備品

③ ウクライナ軍ビクセル迷彩柄軍服 48セット：

4,000 USD

④ 迷彩柄Tシャツ（48着）：400 USD

⑤ ポロシャツ（48着）：866 USD

⑥ 靴（48足）：3,466 USD

⑦ 強化ゴム手袋（220双）：232 USD

⑧ 寝袋（48個）：1,600 USD

⑨ 自己膨張式マット（48個）：1,466 USD

⑩ 防水リュックサック・バッグ（48個）：2,000 USD

⑪（出来れば複合）ガスボンベ（12-27l）（6本）：750 USD

コンピュータ機器・UMB

⑫強化バッテリー搭載の耐衝撃ノートパソコン（2台）：

3,800 USD

⑬クアッドコプター（1機）：3,000 USD

14

オンライン学習を可能にするノートパソコン・タブレット端末を厳戒令下の全ての生徒に提供



オンライン学習を可能にするノートパソコン・タブレット端末を厳戒令下の全ての生徒に提供

意義：現在ウクライナでは、何百もの学校が完全に破壊され、何百もの都市が絶え間ない砲撃を受けています。このプロジェクトは、基本的な条件や技術的な装置の不足のために勉強できない何十万人もの子供たちの未来を守り、知識を得る機会や継続的な教育の機会を提供することを目標としています。

行動：ウクライナには、子どもたちが教育を受けられるオンライン基盤があります。戦時中、子どもたちを保護し、心理状態や知的発達を支援する必要があります。オンライン教育は正当化されますが、子どもたちは技術的な面、つまり機器を使えるようにするための手助けが必要です。このプロジェクトの目標は、生徒一人ひとりに技術的な機器、つまりノートパソコンやタブレット端末を提供することです。現在、州都 Poltava と Poltava 州だけでも、戦争から逃れた 5,000 人以上の子どもたちがこのような支援を必要としています。戦争で収入を失った困窮家庭の 7,000 人以上の子どもたちもまた支援を必要としています。

成果：現代のテクノロジーを、いつでもどこでも教育目標を達成するためのツールとして活用します。生徒一人ひとりに合った学習方法を生み出し、創造的な可能性を引き出します。



15

カルパチア山脈で子どもたちのための復興・教育キャンプの実施

1日あたりの費用：\$ 45/人

<内訳>

宿泊費、食費、送迎、小旅行、教育プログラム、アニメーションの支援、有資格の専門家の雇用



カルパチア山脈で子どもたちのための復興・教育キャンプの実施

ウクライナでの戦争は、多くの子どもたちの運命に影響を与えています。爆発や防空壕での滞在、死を目の当たりにしたことで、多くの子どもたちが精神的なトラウマを抱えています。ヨーロッパの中心にある当 RC は、戦闘状態にあるウクライナの地域から来た子どもたちの精神的な回復を目的としたレクリエーションを実施します。

ウクライナ西部の最も安全な場所で、子供たちが安全で、心穏やかに、友好的な雰囲気の中で過ごす機会を提供したいと考えています。開催場所は、カルパチア山脈の中心部、標高 1400m の Dragobrat 管区に位置しています。宿泊はホテルで、食事付きです。

キャンププログラムは以下の通りです。

- カルパチア山脈の山々や湖を巡るハイキングツアー
- ウクライナの民族文化、地元の伝統や習慣を学ぶワークショップや活動。
- スポーツ、娯楽ゲーム、クイズ
- 英語のレッスンやスピーキングクラブ

このプロジェクトは、有資格の専門家が子どもたちと一緒に活動し、戦争の悲惨さから目をそらさせ、新しい仲間を作り、個人の世界観を広げる機会を提供するもので、当 RC は、このようなキャンプを恒久的に開催していく予定です。

16

リハビリテーションセンターの暖房システムのリニューアル支援

リハビリテーションセンターの暖房システムのリニューアル支援

医療・社会リハビリテーションセンター「Path to Life」は1999年に設立され、1300平方メートルの建物にあります。特別な支援（知的障がい、脳性麻痺、自閉症など）を必要とする175人のUzhgorod住民のケアをしています。戦時中は、同センターをベースに人道的な拠点が作られ、障がいのある子どもやその保護者など25人の国内避難民が救から各にかけて滞在していました。

現在、天然ガス価格の大幅な上昇により、非常に時代遅れて高価な非効率の暖房システムのために、センターが閉鎖される恐れがあります。現在の暖房システムは2000年に設置されたもので、住宅用ではなくオフィス用の暖房として設計されています。現在、このシステムはすでに時代遅れて効率も悪く、子どもや障がい者の滞在に適切な温度調節と快適な環境を提供することはできません。また、適切な温度管理ができただけでなく、機器の備わが激しいために、熱損失が大きく、ガス代も高くなっています。

暖房システムの入替にかかる費用は、右記のプロジェクト予算をご参照ください。新しい暖房システムでは、年間10,893ドルの節約になります。暖房シーズンに使用される熱エネルギー量は、195,697,2kWh/シーズン（現行システム - 216,114,0kWh）です。暖房シーズン中のガス消費量は、22,442,34立方メートル（現行システム - 31,781,47立方メートル）。暖房シーズンのガス料金は、UAH 41 / 立方メートル - UAH 920,130,00（現在のシステムは、UAH 1,303,040です）。この暖房システムの入替えプロジェクトの期間は2ヶ月です。

また、本プロジェクトの持続可能性は、最終受益者であるUzhgorodの「Path to Life」の1日中の活動における改善された当該センターの施設のさらなる運用を通じて保証されます。1999年以来、「Path to Life」は、身体的・精神的障がいを持つ子どもや若者の総合的なリハビリテーション、利用者とその家族の権利と利益の社会的保護に携わってきました。センターには合計175人が登録しており、このうち52人が子ども、19人が若者で、常駐しています。筋骨格系の障がいを持つ子どもたちも、このセンターでリハビリを受けることができます。教師、心理学者、言語療法士、理学療法士、リハビリ療法士、リフレクソジスト、マッサージセラピスト、看護婦などのスペシャリストが揃っています。子供や若者のクラスへの送迎は、一元的に行われています。

当クラブは、プロジェクト総額の10%を出資して参加する予定です。世界中のロータリアンにこのプロジェクトへの参加協力を呼びかけています。

暖房システムの総交換費用：57,830 USD

最新の凝縮ガスボイラー（2台）、センサー、レギュレーター
の設置、パイプ、ポンプ、煙突、ラジエーターなどの交換を含む

技術的・経済的指標 暖房面積：1300平方メートル
ボイラーの計画効率：109%（運転システムは85%）



17

避難民のための住居ブロックの提供

避難民のための住居ブロックの提供

本格的な侵襲が始まって以来、私たちの街は48,597人が子どもたちを含む181,624人の強制避難民を受け入れました。切実に住宅を必要としている約85,000人の避難民が滞在しています。

当RCは、「避難民のための住居ブロック」プロジェクトを立ち上げました。これは、移動可能な5つのモジュール式コンテナで、暖房、バスルーム、エアコン、温水器など、生活に必要なものをすべて備えており、15cmのミネラルウール断熱材を使用、外側には0,44mmのプロファイルシートが貼られ、窓は二重ガラス、内部は竹材の積層チップボードで覆われています。

トイレとバスルーム付きコンテナ：3つの独立した入口あり

- 1) トイレ（2ヶ所）、洗面台（2台）、10㎡
- 2) シャワー（2ヶ所）、温水器（2台）、洗濯機（1台）、9㎡
- 3) 7㎡の2つのリビングスペース、各部屋：窓が1つずつあり

他の4つのコンテナ

- 1) 玄関3㎡
- 2) 床暖房付きタイル張りの廊下4㎡
- 3) 2段ベッド(4台)、計8台のベッドが置けるリビングスペース、キッチン、冷蔵庫置き場

この移動住宅は、ウクライナの公共施設のある場所であれば、どこでも設置することができます。居住可能人数は34人で、家を失った人や、家を失った人に適しています。土地の割り当てやモバイルハウスの公共施設への接続について、自治体は同意しています。

1 コンテナの価格

UAH 725,000.00 ≙ ¥2,647,863 ≙ USD19,631.51

(換算レート：2022. 8.9 現在)



18

ウクライナ支援 プロジェクト一覧

No	クラブ名	プロジェクト名	換算額：USD	換算額：¥	Mail	number	Contact person	優先度高
1	Cherkasy International RC	仮設住宅への支援	記載なし	記載なし	respublic.ck@gmail.com	+380734701582	クラブ会長 Marina Guryanova	★
2	Cherkasy RC	ヨットスクールへの送迎車支援	記載なし	記載なし	oncology@2upost.com	+38 050 520 7352	パスト会長 Olha Paliychuk	
3	Dnipro City RC	発電機支援	12,400.00	1,789,072	amenhotepov@gmail.com	+380507111333	クラブ会長 Andrii Atlantov	★
4	Kharkiv Nadiya RC	ロータリー・リゾート活動	24,750.00	3,570,930	Yulia.pavichenko@gmail.com	+380954249030	クラブ会長 Luliia Pavichenko	
5	Kharkiv New Level RC	子供のためのリハビリテーションセンター	22,869.00	3,299,539	toothmagics@gmail.com	+380501030564	クラブ幹事 Spiridonova Kseniia	★
6	Kharkiv-City RC	地雷除去	115,000.00	16,592,200	rotary.club.kharkiv.city@gmail.com	+38 (067) 577-18-14	クラブ会長 Igor Balak	★
7	Kharkiv Multinational RC	ウクライナ語のデジタル教科書	136,000.00	19,622,080	lyakhovetskii@gmail.com	+380506343048	パスト会長 Dmytro Lyakhovetskiy	
8	Kyiv-Balzac RC	子供のいる国内避難民のための住宅支援	60,857.55	8,780,528	julialefter@gmail.com	+380672353202	クラブ幹事 Yuliia Lefter	★
9	Rotary clubs in Ukraine (District)	モジュラーハウスプロジェクト	12,500.00	1,803,500	serhiy_zavadsky@yahoo.com uadream.info@gmail.com https://www.uadream.fund/	+380504690579	パスト会長 Sergii Zavadskiy	★
10	Kyiv-Sophia RC	未来のワークショップ 一児童とその家族のための人道支援一	記載なし	記載なし	tamara.nedobor@gmail.com	+38 050313 34 63	コーディネーター amara Nedobor	
11	Lutsk Volyn Pride RC	"国境なき子供たちの夢" -子ども達の移動型インクルーシブ・リソース・センター支援-	記載なし	記載なし	Nataliia.Pavlikha@gmail.com	+380503785143	Nataliia Pavlikha	
12	RID2232 Lviv RC	心的外傷性ストレス障害者のための精神疾患ケア研究所の設立	4,050.00	584,334	rotary@rotary.lviv.ua alesio79@ukr.net	+38 067340 82 72	クラブ会長 地区ビジネス協会長 Oleksiy Dehtyarenko	★
13	Odessa Sea Energy RC	人道的プロジェクトEVACUATION200	61,580.00	8,884,762	rotarysea@gmail.com	+380939514858	クラブ会長 Serhii Sudnik	
14	Poltava RC	オンライン学習を可能にするノートパソコン・タブレット端末を 厳戒令下の全ての生徒に提供	記載なし	記載なし	kobalarya8@gmail.com	+38 050 862 999 8	Larysa Koba	
15	Rakhiv RC	カルパチア山脈で子どもたちのための復興・教育キャンプの実施	45.00	6,493	dumin.loci@gmail.com	+380673121711 (viber,telegram)	Dumyn Vasyl	
16	Uzhgorod- Skala RC	リハビリテーションセンターの暖房システムのリニューアル支援	57,830.00	8,343,712	rmitsoda@gmail.co m	+ 380505291336	Roman Mitsoda	★
17	Zaporizhzhia- Khortytisia RC	避難民のための住居ブロックの提供	19,631.51	2,832,434	Es7893109@gmail.com	+380977893109	クラブ会長 Olena Sopina	★

換算date	2022年9月7日
換算rate	
1€=0.99USD	1USD=144.28 円
1UAH=0.027USD	

各位

ウクライナ支援プロジェクト 申込書

ご所属クラブ名

代表連絡担当者

氏名

Mail

Tel

支援するプロジェクト

※ 別紙「ウクライナ支援プロジェクト一覧」をご参照ください。

No

プロジェクト名

拠出金

円

ガバナー事務所（担当：加茂）

Mail : kamo@ri2660.gr.jp

2022-23年度 RID2660 財団セミナー
 2021-22年度 グローバル補助金・地区補助金 クラブ承認実績

2022.09.03

【グローバル補助金】

代表提唱クラブ (RC)	重点分野	実施国	助金額 (US\$)
大阪大淀	地域社会の経済発展	カンボジア	5,000.00
豊中	疾病予防と治療	タイ	20,000.00
大阪アーバン	水と衛生	パキスタン	20,000.00
大阪心斎橋	疾病予防と治療	タイ	19,000.00
守口イブニング	疾病予防と治療	台湾	5,000.00
大阪中央	疾病予防と治療 (奨学生)	イギリス	40,000.00

【地区補助金】

クラブ	実施国	活動内容	補助金額(US\$)
交野	日本	中学校に Web 会議システム寄贈	5,505.00
茨木	インドネシア	図書館にモバイルライブラリ・書籍寄贈	5,964.00
大阪アーバン	日本	視覚障害者施設への作業用計測器寄贈	2,824.00
吹田西	日本	ジャンボ将棋大会の運営サポート・備品寄贈	3,766.00
大阪淀川	バングラデシュ	スラム地区のクリニックに医薬品寄贈	4,377.00
豊中	日本	インドネシア人留学生への奨学金	3,303.00
大阪南	日本	サッカー用品寄贈・プロによる養護施設児童の指導	5,505.00
摂津	日本	図書館に外国人労働者の日本語習得用図書寄贈	4,127.00
吹田	カンボジア	医療現場に小児患者用ベッド・医療機器寄贈	7,138.00
大阪城南	日本	外国人留学生への昼食補助	5,505.00
大阪西南	フィリピン	小学校にトイレ・洗面所建設	3,986.00
東大阪東	日本	地域住民への悩み相談室開催	4,588.00
くずは	日本	小学校に足踏み式消毒ポンプ寄贈	5,450.00
大阪北	タンザニア	実施国での全国野球ソフトボール大会開催支援	9,175.00
大阪柏原	日本	養護施設児童とのボーリング大会開催	2,081.00
大阪御堂筋本町	日本	分散した児童養護施設に家具寄贈	4,269.00

2022-23年度 RID2660 財団セミナー

2021-22年度 グローバル補助金・地区補助金 クラブ承認実績

2022.09.03

大阪大淀	カンボジア	現地楽団に大型楽器寄贈	4,640.00
豊中千里	日本	地域の恵まれない子ども達に食生活の支援	2,753.00
大東中央	日本	地域の歴史を冊子に纏め、学校や図書館等に寄贈	1,858.00
東大阪中央	日本	養護施設の児童を遊園地に招待	1,873.00
大阪堂島	ケニア	現地スラムの通学児童への奨学金支援	4,129.00
大阪心斎橋	フィリピン	現地の恵まれない小学生に食糧支援や学習教材寄贈	2,569.00
東大阪	日本	府内のラグビースクールにボール寄贈	1,973.00
大阪西	カンボジア	医療現場に薬品・医療機器寄贈	5,579.00
大阪難波	日本	こども食堂の食材・冷凍庫寄贈	2,635.00
池田	日本	コロナ禍の地域住民に野外映画鑑賞を提供	5,505.00
高槻東	日本	小中学校に環境教育用の機材・書籍寄贈	3,212.00
大阪東	日本	養護施設児童に学習発表会支援と教材寄贈	2,130.00
大阪中央	日本	治安悪化の原因である地域を美化し安全な街造り	4,542.00
門真	日本	地域の児童を招待しサイエンスショーを開催	2,755.00
箕面	日本	成人式会場にフォトスポット設置・色紙寄贈	2,340.00
八尾	日本	里子にプログラミング教育機材寄贈	5,505.00
大阪城東	日本	中学校吹奏楽部の活動・発表場所支援	3,670.00
RID2660	ポーランド	ポーランドに避難しているウクライナ難民医療支援	43,782.00



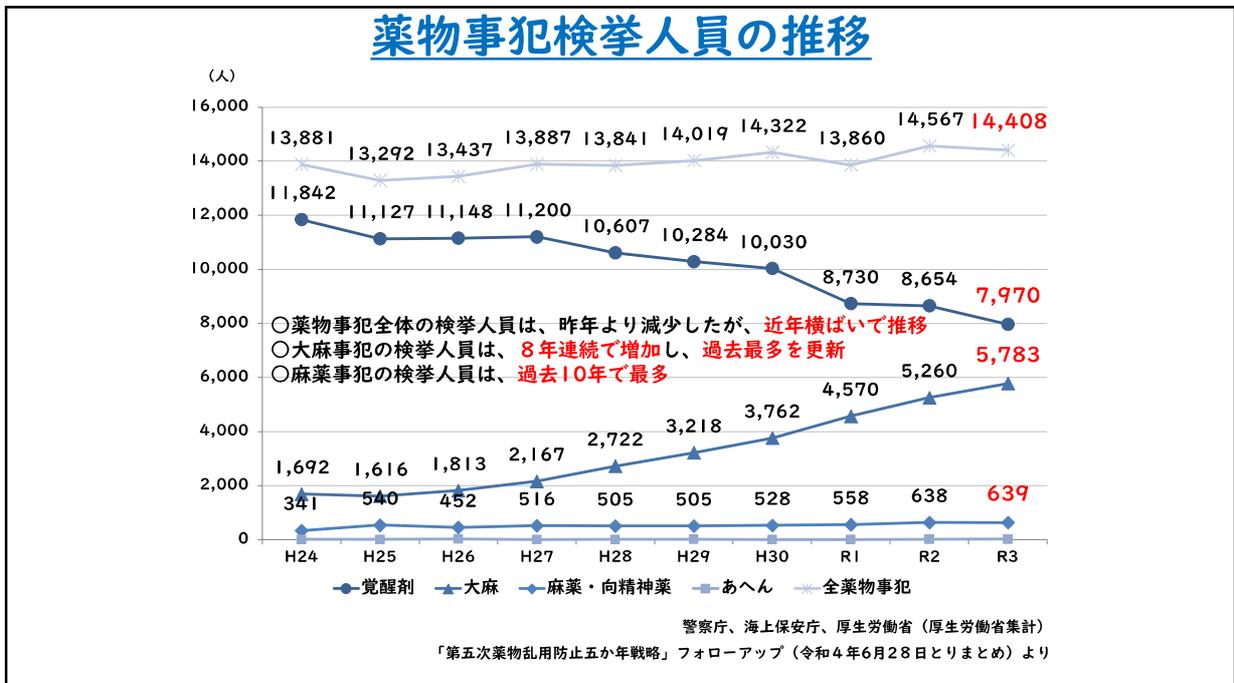
OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

大阪府における 薬物乱用の現状について



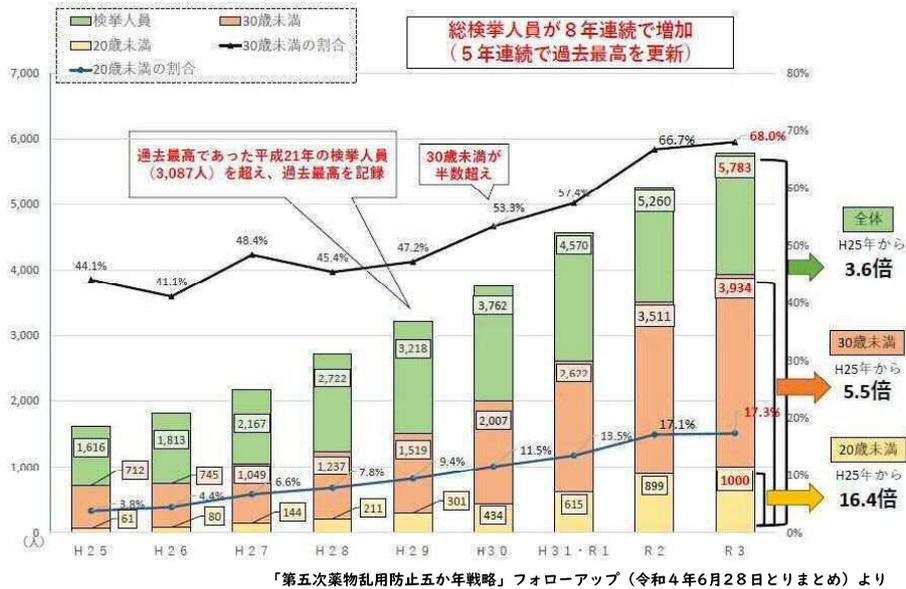
大阪府健康医療部生活衛生室薬務課
麻薬毒劇物グループ

1



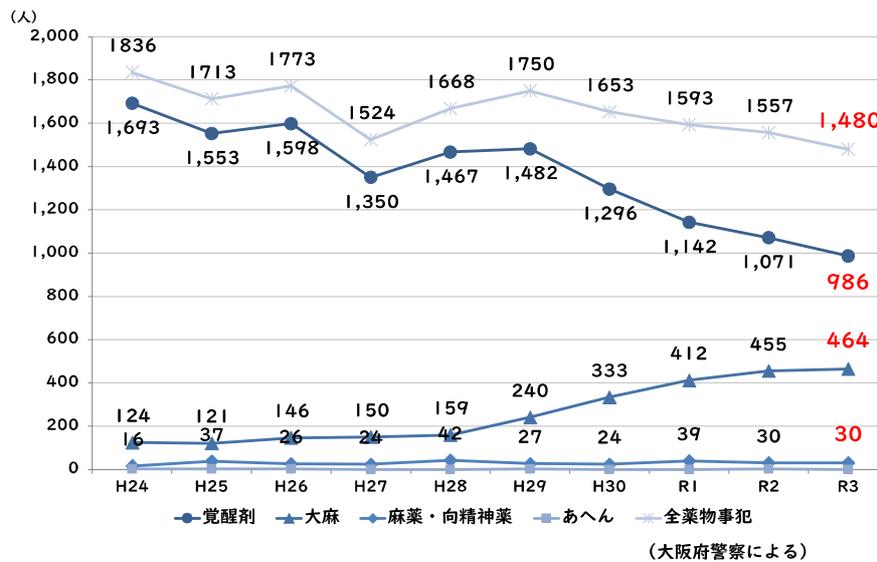
2

大麻事犯検挙人員の推移(年齢別・全国)



3

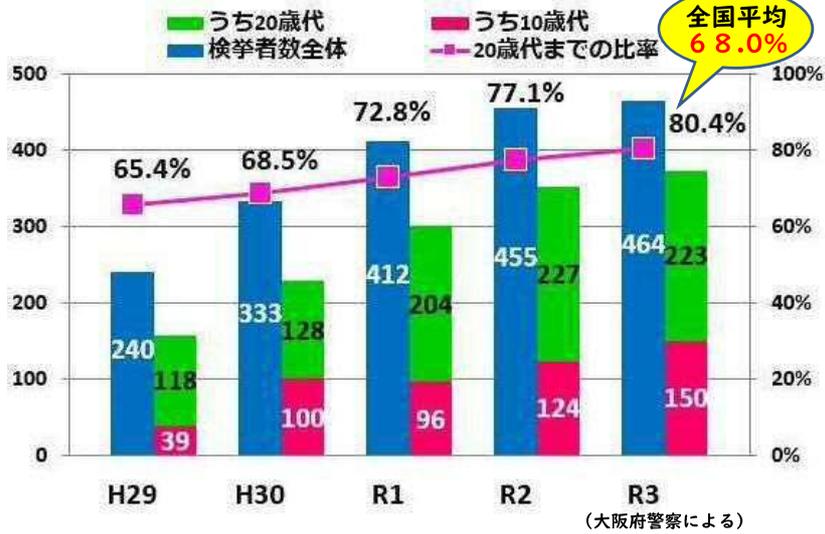
薬物事犯検挙人員の推移(大阪)



4

大麻事犯検挙人員の推移(年齢別・大阪)

大麻事犯 検挙人員の推移(大阪)



5

R3.8.17
毎日(夕)

府立高校生大麻売買疑い 大阪府警逮捕 校内まん延か

大阪府警は17日、大阪府立高校で大麻の売買が横行しているとして、大阪府警捜査第一課が府立高校の生徒ら約100人を逮捕した。捜査によると、大阪府立高校の生徒ら約100人が、大阪府内各地の府立高校で大麻の売買を繰り返していたとみられる。大阪府警は、大阪府立高校の生徒ら約100人を逮捕した。捜査によると、大阪府立高校の生徒ら約100人が、大阪府内各地の府立高校で大麻の売買を繰り返していたとみられる。

大阪府警捜査第一課は17日、大阪府立高校で大麻の売買が横行しているとして、大阪府警捜査第一課が府立高校の生徒ら約100人を逮捕した。捜査によると、大阪府立高校の生徒ら約100人が、大阪府内各地の府立高校で大麻の売買を繰り返していたとみられる。大阪府警は、大阪府立高校の生徒ら約100人を逮捕した。捜査によると、大阪府立高校の生徒ら約100人が、大阪府内各地の府立高校で大麻の売買を繰り返していたとみられる。

大麻で検挙の少年 「有害性ない」37% 警視庁「SNSで入手容易」

警視庁が昨年、大麻取締法違反容疑で検挙した少年の37%が「全くない」と回答したことが分かった。理由は「大麻が合法化されている国がある」「依存性が低い」「大麻が合法的に入手できる」といった理由が挙げられた。また、約4割の少年が「SNSで入手しやすい」と回答した。警視庁は、大麻の検挙が急増していることを受けて、SNSでの入手方法を調査している。

R3.8.23
日経(夕)

子大学生はSNSを通じて大麻を手に入れやすくなった。大阪府警捜査第一課は、大阪府立高校で大麻の売買が横行しているとして、大阪府警捜査第一課が府立高校の生徒ら約100人を逮捕した。捜査によると、大阪府立高校の生徒ら約100人が、大阪府内各地の府立高校で大麻の売買を繰り返していたとみられる。

6

若者に大麻乱用が広がっている背景

○インターネットやSNSなどで誤った情報の広がり

- ・大麻が合法的な国があるから体に悪くない!?
- ・医療用大麻が認められている国があるから使っても問題ない!?
- ・産業に使われる植物だから安心!?

大麻は人体に有害です！
脳に作用して、記憶や学習能力を低下させ、
乱用を続けると幻覚や妄想などを引き起します。

7

なぜ大麻を解禁する国があるのか？

日本の大麻の生涯経験率は1.4%と際立って低い水準です。
一方、アメリカ、カナダは40%を超えています。もしも、その全てを捕まえた場合、刑務所は足りず、労働人口が減り、国の税金も激減します。国が成り立たなくなってしまうといえるでしょう。

そこで、大麻の蔓延により乱用者を捕まえきれないのであれば、大麻を解禁し、その販売等に課税することによって、得られた税金を依存症対策等に使い、さらには反社会勢力などの密売組織への資金源を絶つ、というのが昨今の海外での大麻解禁の流れです。

決して大麻が安全だから解禁されているわけではありません。

大麻は国際条約でも規制物質に指定※されています。

各国の違法薬物の生涯経験率(%)

		対象年齢	何らかの違法薬物	大麻
1	アメリカ	12歳以上	49.2%	44.2%
2	カナダ	15歳以上	43.2%	41.5%
3	日本	15-64歳	2.5%	1.4%

※世界保健機関(WHO)は、大麻を精神毒性、依存性がある有害なものとして評価しており、国際条約上もヘロイン、コカインやあへん等と同様の最も厳しい規制がかけられています。

(出典) 1:National survey on Drug Use and Health(2014)
2:Canadian Alcohol and Drug Use Monitoring Survey(2012)
3:薬物使用に関する全国住民調査(2021)

8

様々な大麻の乱用形態



大麻草



乾燥大麻



大麻樹脂



大麻タバコ



大麻リキッド (電子タバコ型)



大麻ワックス

写真：厚生労働省

9

薬物乱用防止啓発の実施

R元年度から
実施

R3年度
実施事業

- ・ ターゲティング広告の手法を用いた啓発サイトにアクセスするユーザーの「年齢、居住地」「検索履歴」「端末位置情報」などの情報を基に、指定した条件を満たすユーザーの端末に絞って広告を表示。

【掲載イメージ】



閲覧者が広告をクリックすることにより、府HP「大麻乱用防止啓発ページ」へ移動

- ・ 大学との包括連携協定に基づく府政に関するリレー講座の実施

府が取り組む重要課題について、学生に対し、事業の背景、取組内容、今後の展望・課題等を講義し、学生自ら考え、情報発信することを期待する。
府を含めた社会全体が抱える課題について理解し対応できる人材を育成する。

【テーマ】府民への効果的な啓発
～若者への薬物乱用防止対策～

大阪府が取り組む薬物乱用防止啓発において、若者に効果的な方法を大学生が新たに提案。



10

各種相談窓口 ①

◆薬物乱用防止啓発に関する相談窓口

- 麻薬覚醒剤等対策本部事務局 大阪府健康医療部生活衛生室薬務課
電話 06-6941-9078

◆薬物の取締りに関する情報・相談窓口

- 覚せい剤110番 (大阪府警察本部刑事部薬物対策課内)
電話 06-6943-7957
- 覚せい剤専用電話 (厚生労働省近畿厚生局麻薬取締部内)
電話 06-6949-3779

11

各種相談窓口 ②

◆薬物依存症に関する相談窓口

- 大阪府こころの健康総合センター
依存症専門相談 06-6691-2818
こころの電話相談 06-6607-8814
- 大阪市こころの健康センター (大阪市民の方)
電話 06-6922-8520
- 堺市こころの健康センター (堺市民の方)
電話 072-245-9192

12

啓発資材の提供・貸出

薬物乱用防止教室やイベントで使用する啓発資材の提供・貸出しを行っています。

ご希望される方は、薬務課または府保健所までご連絡ください。



- ・ポスター、リーフレット
- ・傷テープ、マスク、ウェットティッシュ
- ・DVD、薬物標本、パネル
- ・着ぐるみ、のぼり、たすきなど



※詳しくは、[大阪府HP](#)をご覧ください。

大阪府 薬物乱用

検索



13

薬務課で貸出可能な資材（例）



薬物標本



展示パネル（セット）

14

「ダメ。ゼッタイ。」 国連支援募金ご協力のお願い

主催：公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

目的：国際連合の薬物乱用防止活動を支援し、国内外における薬物乱用防止運動の促進を図るため、善意の拠金を募り、国際連合（国連薬物犯罪事務所）を通じて、開発途上国で薬物乱用防止活動に従事している団体を支援することにより、薬物乱用のない21世紀の地球環境づくりに資することを目的とする。

⇒募金額の一部は、
各府県の薬物乱用防止団体の活動資金として配分されます。

※ 募金は、募金セットに同封の振込用紙にて
お振込みくださいますようお願い申し上げます。



©2014大阪府もずやん

15



ご清聴ありがとうございました。

16